

令和 4 年度山口県教育委員会の点検・評価について

1 根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条

- 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表する。
- 点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る。

2 点検・評価の対象

- (1) 教育委員会の令和 3 年度活動状況
- (2) 教育委員会の令和 3 年度事務事業の実施状況

3 点検・評価 1 : 教育委員会の活動状況

活動	主な内容	件数等
教育委員会 会議	○議案審議：教育行政の基本方針、教職員人事 議会提出議案に係る知事への意見 申出、規則の制定 等	1 2 回 6 3 件
	○協議・報告：主要事業等の実施方針・取組状況 の協議・報告 等	4 6 件
	○意見交換：教育課題に関する意見交換	5 テーマ
山口県総合 教育会議	○主な議事：令和 3 年度重点取組方針への対応 令和 4 年度における重点取組方針	2 回
県内視察	○学校等を訪問 授業参観、施設見学、	1 箇所
その他	○公安委員会との意見交換	1 回
	○会議等への出席、他県委員等との意見交換	
	・全国都道府県教育委員会連合会総会	2 回
	・中国五県教育委員会委員全員協議会	1 回
	・県・市町教育委員会教育長・委員会議	中止
・都道府県・指定都市教育委員研究協議会	1 回	

評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例月の会議では、議案の審議、協議事項は昨年度よりも件数が減少したが、報告は昨年度から増加した。教育庁の組織改編や第 3 期県立高校将来構想の策定に向けた協議を行うなど、教育行政の推進に取り組んだ。 ○ 「令和 3 年度の重点的な取組に対する対応」や新年度の「重点取組方針」について、総合教育会議において知事と教育長及び教育委員が協議を行った。
------	--

4 点検・評価 2 : 事務事業の実施状況

山口県教育振興基本計画（2018年度～2022年度）の施策体系に基づき、29の施策及び7の緊急・重点プロジェクトのそれぞれについて点検・評価を行う。

(1) 点検・評価の方法

■ 施策の評価

各施策の主な取組（■マーク）ごとに、実績や関連指標の到達状況を踏まえ、①取組に係る進捗状況を5段階（☆～☆☆☆☆☆）で示し、星の数を平均したものと、②指標の達成状況を3段階（☆～☆☆☆）で示し、星の数を平均したものの合計値（①+②）により施策の進捗状況として3段階（順調・概ね順調、課題あり）で評価する。

◆ 緊急・重点プロジェクトの評価

各プロジェクトの主な取組（◆マーク）ごとに、実績や関連指標の到達状況を踏まえ、①取組に係る進捗状況を5段階（☆～☆☆☆☆☆）で示し、星の数を平均したものと、②指標の達成状況を3段階（☆～☆☆☆）で示し、星の数を平均したものの合計値（①+②）により施策の進捗状況として3段階（順調・概ね順調、課題あり）で評価する。

※取組に係る評価基準

評価基準	評点	判断の目安
☆☆☆☆☆：計画を上回り進捗	5	所期の目的を上回る成果等を得たとき
☆☆☆☆：ほぼ計画どおりで順調	4	所期の成果等を得たとき
☆☆☆：一部に課題はあるが概ね順調	3	課題はあるが概ね所期の成果等を得たとき
☆☆：全体的に遅れている	2	所期の成果等を得られなかったとき
☆：大幅に遅れがある	1	取組が行われていないとき

※指標に係る評価基準

評価基準	評点	判断の目安
☆☆☆：達成	3	目標値以上であるとき
☆☆：横ばい	2	基準値以上であるが目標値に達していないとき
☆：後退	1	基準値を下回っているとき

※施策・プロジェクト全体の評価基準

合計値	評価結果
5.7 以上	順調
4.3 以上 5.7 未満	一部に課題はあるが概ね順調
4.3 未満	取組に課題あり

(2) 点検・評価の結果の反映

点検・評価の結果、取組状況に課題があるものや、関連指標の目標に未到達となっているものについては、取組内容の見直し、改善を行うなど、次年度の取組に反映する。

《点検・評価の例》

施策名		11 特別支援教育の推進			
取組	取組名	主要内容			評価
	■ 総合支援学校における教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育センター等による相談支援の充実 ○ICT の活用等による一人ひとりの教育的ニーズに応える教育内容等の充実 ○キャリア教育・職業教育の推進 ○教育環境の整備促進 課題 職業教育の内容の充実とマッチングの促進			☆☆☆
	■ 高等学校等における特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○全校体制による指導・支援の充実 ○通級による指導の充実 ○特別支援教育の視点を取り入れた指導・支援の充実 ○「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」の作成と活用 			☆☆☆☆
	■ 小・中学校における特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○全校体制による指導・支援の充実 ○通級による指導の充実 ○特別支援教育の視点を取り入れた指導・支援の充実 ○「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」の作成と活用 課題 個別の教育支援計画の活用した引継ぎの一層の促進			☆☆☆
	■ 早期からの切れ目ない支援体制の充実	○医療・保健・福祉等と連携した早期からの支援体制の充実			☆☆☆☆
	■ 特別支援教育を推進する体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の専門性の向上 ○交流及び共同学習の推進 ○障害者理解の促進 ○地域におけるネットワークの充実 ○総合支援学校コミュニティ・スクールの取組の充実 課題 特別支援教育の対象となる児童生徒数の増加を見据えた、全ての教師の専門性の向上			☆☆☆
取組に係る評価平均 (A)					3.4点
指標	指標名	基準値	R3実績	目標値	評価
	総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職決定率	94.6% (2017)	94.6% (2021)	100%に近付ける (2022)	☆
	●高い水準を維持しているが、新型コロナウイルスの感染拡大により「産業現場等における実習」の実施の制限を受ける状況が引き続いて見られた。現場実習による企業等とのマッチングを進めるなど、就職支援コーディネーターや関係機関と連携した取組を一層進める。				
公立幼・小・中・高校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別の教育支援計画の作成率	85.4% (2018)	95.8% (2021)	100%に近付ける (2022)	☆☆	○R3は文科省調査が未実施のため、県独自調査であり、幼稚園等を含まない。

公立幼・小・中・高校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別の指導計画の作成率	78.4% (2018)	93.9% (2021)	100%に近付ける (2022)	☆☆
	○R3は文科省調査が未実施のため、県独自調査であり、幼稚園等を含まない。			
義務教育段階から高等学校段階に進学、就職する生徒に、個別の教育支援計画を活用した支援情報の引継ぎ率	70.3% (2018)	75.2% (2021)	100%に近付ける (2022)	☆☆
指標に係る評価平均 (B)				1.8 点
評価点 (A + B)	5.2 点	評価結果	順 調	概ね順調 課題あり
改善すべき項目 今後の展開方向	<p>○就業実践科の取組の普及や、持続可能な「きらめき検定」(山口県特別支援学校技能検定)の運営、関係機関との連携強化により、職業教育の一層の充実を図る。</p> <p>○進学や転学の際、前籍校までの支援を確実に引継ぎ、支援に生かす必要性について、各種会議や研修会での一層の周知を行う。</p> <p>○VR等の先進的な技術を含め、ICTを効果的に活用し、総合支援学校における校内外の学習活動や交流及び共同学習の一層の充実を図るとともに、その成果を他の校種にも普及させる。</p>			

注) ●は新型コロナウイルス感染症に関連する記述

評価結果の一覧

1 施策の評価

(1) 知・徳・体の調和のとれた教育の推進

No.	施策名	評価結果
1	キャリア教育の推進	課題あり
2	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実	概ね順調↓
3	グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成	概ね順調
4	進路指導の充実	順 調
5	読書活動の推進	順 調↑
6	学校における人権教育の推進	概ね順調
7	いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実	概ね順調
8	体力向上の推進	課題あり↓
9	食育の推進	概ね順調
10	健康教育の推進	概ね順調
11	特別支援教育の推進	概ね順調
12	幼児期における取組の充実	概ね順調↓
13	少人数教育の推進	概ね順調↓

(2) 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

14	地域連携教育の充実	順 調
15	家庭教育支援の充実	概ね順調
16	社会教育施設等を活用した教育の充実	概ね順調

(3) 生涯を通じた学びの充実

17	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	順 調
18	地域社会における人権教育の推進	順 調↑
19	地域とともにすすめる文化財の保存・活用	順 調↑
20	文化にふれあい親しむ環境づくりの推進	概ね順調
21	「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	概ね順調↓

(4) 豊かな学びを支える教育環境の充実

22	教育施設・設備の整備、教育環境の向上	順 調
23	学校安全の推進	順 調
24	学校における働き方改革の推進	概ね順調
25	教職員の資質能力の向上	概ね順調↓
26	校種間連携・一貫教育の推進	順 調
27	多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり	概ね順調
28	私学の振興	概ね順調
29	修学支援の充実	順 調

2 緊急・重点プロジェクトの評価

注) ●は新型コロナウイルス感染症に関連する記述

No	プロジェクト名	R 3 評価	改善すべき項目 今後の展開方向
1	「地域教育力日本一」推進プロジェクト	順 調	<p>○学校教育と社会教育の一体的な推進により、<u>子どもたちの学びや育ちを家庭や地域・社会と横につながり、義務教育段階で育んだ子どもたちの資質・能力を高等学校等と縦につながり「校種間連携」の2つの取組の推進により、地域連携教育の更なる充実を図る。</u></p> <p>○「PTAと連携した家庭教育支援の在り方に関する調査研究事業」を活用し、市町教育委員会と連携しながら「やまぐち型家庭教育支援チーム」の設置を一層加速させる。</p> <p>●年度当初に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、養成講座等のほとんどをオンラインで開催したところ、遠方からでも受講しやすくなったという声も聞かれ、修了者数が大幅に増加した。今後もICT環境の整備に併せて、多様な受講形態を提供する等、地域連携教育推進の核となる人材養成を図っていく。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面形式による地域との協働活動は減少したが、ICTを活用したオンライン会議や情報共有等について充実を図る。</p>
2	教育を通じた「ふるさと山口」創生プロジェクト	順 調↑	<p>○<u>1人1台タブレット端末等の活用による就職に向けた意識の醸成を図るガイダンスの充実等(オンライン面接への対応を含む)により、県内企業の魅力やよさについての理解を深める取組を推進する。</u></p> <p>○専門分野に関する知識・技術の深化と実践力の育成、<u>将来の地域産業を支える人材の育成に向けた取組を推進する。</u></p> <p>○令和2年度に整備されたICT環境を積極的に活用し、学校の枠を越えた学びの場や学ぶ機会を創出する。</p> <p>●県教委主催の短期留学支援は中止となった。今後はコロナ禍においても安心・安全に実施できる方法を模索するなどして、参加者の増加をめざす。また、引き続き検定試験の活用の促進に努める。</p> <p>○地域社会総がかりで文化財の保存・活用を進めていくため策定した文化財保存活用大綱に基づき、<u>市町の地域計画の作成及び文化資源の地域一体での保存・活用に向けた取組を推進する。</u></p> <p>○ふるさと教育の活用基盤づくりとして、HP「山口県の文化財」の整備を引き続き実施し、「山口県の文化財」を使ったふるさと教育の推進に努める。</p>

3	確かな学力育成プロジェクト	概ね順調↓	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領の着実な遂行及びICTの有効活用を推進することなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に継続的に取り組む。 ●コロナ禍においても学びを止めることなく、確かな学力の定着と向上に向けた取組やきめ細かな指導体制の充実に向けた取組を実施する。
4	豊かな心・健やかな体育成プロジェクト	課題あり↓	<ul style="list-style-type: none"> ●指標に係る評価は、いじめの解消の判断を丁寧かつ慎重に行っていることや、<u>新型コロナウイルス感染症の影響により児童生徒の生活リズムが乱れやすく、登校する意欲がわきにくい状況にあったこと等により、昨年度よりも下がったが、S・C・S・S・W等の外部専門家や関係機関等との連携強化による相談・支援体制の一層の充実を図るなど、引き続き、いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実を図っていく。</u> ○児童生徒の主体的活動や、開発的・予防的生徒指導を通じた心を育てる教育を推進する。 ○スポーツ医・科学の専門家等と連携し、各校での取組の検証とその改善を図る。 ○<u>新体力向上プログラムに基づいた体力向上への効果的な取組の推進、運動習慣の改善に向けた学校や家庭、地域が一体となった取組の充実を図る。</u> ○児童生徒の朝食摂取率の増加に向け、やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かし、地域の食生活改善推進委員による食生活に係る指導等、家庭を巻き込んだ取組を実施する。 ○道徳教育の充実に向け、地域人材を活用した指導の充実を図る。
5	魅力ある学校づくりプロジェクト	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>県立高校の再編整備の計画的な実行に取り組むとともに、中学生等への広報活動を充実させていく。</u> ○<u>県教委作成のガイドブックの活用、管理職研修会等による高等学校等における「通級による指導」のさらなる充実を図る。</u> ○<u>地域の拠点となる7支部7校の高等学校と総合支援学校の連携による支援体制の一層の推進を図る。</u> ○令和2年度に整備したICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」を推進する。 ●新型コロナウイルス感染症の流行により説明会を中止した学校があり、参加者が減少したため、指標の目標値を達成することができなかったが、中学生や保護者への情報提供については、代替の取組（動画配信・パンフレット配付等）を通して、これまでと同様に行うことができた。 ●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンラインによる説明会を開催したり、説明会にかわるパンフレットの配付や動画配信等を実施したりすることで、高校の特色などの適切な情報提供に努める。

6	教職員人材育成プロジェクト	概ね順調↓	<p>○教員の養成・採用・研修の一体改革が順調に進んでおり、教職員研修の充実など、引き続き教職員の資質能力の向上に向け取り組んでいく。</p> <p>○本県の強み（コミュニティ・スクール、ICT）を生かして「<u>新たな学び</u>」の視点で開発した教育プログラムを展開するため、<u>教育（学習）プログラムを活用した課題解決学習（PBL）を体験する実践的研修や普及に向けた研修を実施</u>していく。</p> <p>○令和3年7月に改訂した「<u>学校における働き方改革加速化プラン</u>」に沿って、取組の充実を図る。</p> <p>○「ICTの活用」「コミュニティ・スクールの仕組みの活用」を各取組に共通する視点とし、取組の推進を図る。</p> <p>○改訂したプランの目標である時間外在校等時間の上限方針の遵守「月45時間、年360時間を超える教員の割合を0（ゼロ）%に近づける。」に向けて業務量の適切な管理を行う。</p>
7	安心・安全な学校づくりプロジェクト	順調	<p>○<u>実践的・実効的な「安全教育」の取組</u>を、今後も効果的に継続して実施していく。また、今後は、学校だけでなく家庭や地域とも連携・協働した取組を推進していく。</p> <p>○課題である市町立幼・小・中学校の耐震化の促進については、<u>市への働きかけや状況に応じた指導・助言を引き続き行</u>っていく。</p>

※新型コロナウイルス感染症の影響について

- 令和3年度の点検・評価において、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事や研修会等を予定通り実施できなかった状況が多く見受けられた。
- 令和4年度は、このような状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じるとともに、ICTを活用したオンライン研修の実施など、様々な変化に対応しながら、新たな学びを実践することで、できる限り、子どもたちの学びや生活への支障を生じさせないよう、学校現場と連携して対応していく。

<令和3年度の新型コロナウイルス感染症に係る主な対応について>

1 感染防止対策

- ◇「学校における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に基づく感染防止対策の徹底
- ◇県立学校における部活動や修学旅行等に係る一斉PCR検査と随時PCR検査の実施
- ◇県立学校において継続して購入が必要な保健衛生用品など消耗品の購入
- ◇県立学校におけるトイレの洋式化、洗面蛇口の自動水洗化
- ◇密集の低減を図るための特別支援学校のスクールバスの増便・大型化

2 学習支援について

- ◇「新型コロナウイルス感染症対策に対応した学校の臨時休業に係る学習保障について」及び「「新しい生活様式」を踏まえた学習指導について」の策定
- ◇1人1台タブレット端末、高速ネットワーク、無線LAN、大型提示装置等のICT環境を効果的に活用した学びの推進
- ◇障害により通常の端末操作が困難な児童生徒を支援する補助機器等を活用した指導・支援の充実
- ◇家庭学習を支援するため、インターネット環境のない家庭に対して、モバイルルータの貸与を実施
- ◇オンライン学習支援サービス(スタディサプリ)による学習支援
- ◇教員のICT活用指導力向上のための情報集約・発信ウェブサイト「やまぐちICT新たな学びラボ(YAMA-LABO)」による支援
- ◇「やまぐちっ子学習プリント」の提供による支援
- ◇県立学校における老朽化空調設備の更新
- ◇低所得者世帯の家庭学習を支えるための通信費支援

3 その他

- ◇長期休業明けの児童生徒に対するカウンセリングの実施
- ◇家計急変世帯に対する奨学給付金の給付
- ◇県立学校の修学旅行のキャンセル料等への支援
- ◇デジタル技術を活用したバーチャル山口博物館の開設

主な推進指標(R3点検・評価)

◆ 主な推進指標の進捗状況

注)●は新型コロナウイルス感染症に関連する記述

施策	No	主な推進指標	基準値		R3実績値	2022年/年度 目標値	評価	備考
			数値	年/年度				
①	1	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合（公立小・中学校）	小87.1% 中74.3%	2018	小82.3% 中70.3%	増加させる	★	●新型コロナウイルス感染症の影響により、体験活動等が十分に行えなかったことが要因と推測される。
	2	地域と連携して「1/2成人式」や「立志式」を行っている公立小・中学校の割合	小68.4% 中84.0%	2018	小16.7% 中29.8%	小・中100%	★	●新型コロナウイルス感染症の影響により、地域と連携した取組等が十分に行えなかったこと等が要因。
	3	高校在学中に、体験的なキャリア教育(インターンシップ、大学・企業訪問等)を行った生徒の割合	98.9%	2018	94.5%	高 100%	★	●新型コロナウイルス感染症の影響で、現地に行っていた体験活動が制限されたことが影響している。
②	4	全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との比較（公立小・中学校）	＜小学校＞ 国A 72% (70.7%) 国B 57% (54.7%) 算A 64% (63.5%) 算B 52% (51.5%) ＜中学校＞ 国A 77% (76.1%) 国B 61% (61.2%) 数A 67% (66.1%) 数B 46% (46.9%)	2018	＜小学校＞ 国 64% (64.7%) 算 69% (70.2%) ＜中学校＞ 国 65% (64.6%) 数 58% (57.2%)	小・中学校全区分で全国平均を上回る	★★	●2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、2019年の結果と比較すると、基準値からの減少ではあるが、ほぼ横ばいの状況である。
	5	勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合（公立小・中学校）	小 64.1% 中 62.4%	2017	小 62.6% 中 62.5%	増加させる	★★	●コロナ拡大に伴い、学校における様々な教育活動が制限されたこと等が挙げられる。
	6	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合（公立小・中学校）	小 78.8% 中 80.8%	2018	小 75.9% 中 84.4%	増加させる	★★	●コロナ拡大に伴い、学校における様々な教育活動が制限されたこと等が挙げられる。
③	7	中学校卒業段階で英検3級以上相当、高等学校卒業段階で英検準2級以上相当を達成した中高校生の割合	中学校卒業段階： 37.9% 高等学校卒業段階： 37.6%	2017	中学校卒業段階 50.3% 高等学校卒業段階 44.1%	中学校卒業段階： 50% 高等学校卒業段階： 50%	★★	○順調に推移
	8	ヤング・サイエンティスト拡大事業における小中学生対象の科学教室への参加者数	小中 13,807人	2018	小中 1,763人	小中 24,000人	★	●新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントの規模を縮小して実施。
	9	やまぐちサイエンス・キャンプの参加高校生数	高 79人	2017	高 47人	高 100人	★	●新型コロナウイルス感染症の影響により、実施日数及び内容を縮小して実施。
④	10	高校生等の就職決定率	99.1%	2016	99.8%	100%に近付ける	★★★	○順調に推移
	11	高校生等の県内就職割合	80.2%	2016	82.2%	85%以上	★★	○2021調査結果未公表のため2020調査結果を記載。
	12	中学校・高校卒業者のうち進路決定者の割合	中99.2% 高98.2%	2016	中 99.1% 高 97.2%	増加させる	★	○調査時点における就職及び進学未決定者が増加したため。
⑤	13	読書が好きと感じている児童生徒の割合（公立小・中学校）	小73.7% 中75.2%	2017	小74.6% 中 —	増加させる	★★★	○順調に推移
⑦	14	人権教育に関するサテライト研修等への県教委からの講師派遣回数	203回 (2013～2017累計)		176回 (2018～2021累計)	250回 (2018～2022累計)	★	●新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため依頼が減少した。
	15	「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合（公立小・中学校）	小87.8% 中85.3%	2018	小83.7% 中85.5%	増加させる	★	○心の教育などいじめの未然防止に向けた取組を更に充実させ、児童生徒のいじめに対する意識の向上に繋げていく必要がある。
	16	いじめの解消率（公立小・中・高等学校、総合支援学校）	98.1%	2016	96.3%	100%に近付ける	★	○2021調査結果は本年10月に公表予定のため、2020調査結果を記載。
	17	1,000人当たりの不登校児童生徒数（公立小・中・高等学校）	小・中 11.4人 高 4.1人	2016	小・中 20.7人 高 5.4人	減少させる	★	○2021調査結果は本年10月に公表予定のため、2020調査結果を記載。
⑧	18	1,000人当たりの暴力行為発生件数（公立小・中・高等学校）	3.9件	2016	6.1件	減少させる	★	○2021調査結果は本年10月に公表予定のため、2020調査結果を記載。
	19	全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）における、体力合計点の県平均点（公立小・中学校）	小5男子52.9点 小5女子54.3点 中2男子41.5点 中2女子49.4点	2017	小5男51.3点 小5女53.5点 中2男40.6点 中2女48.2点	増加させる	★	○新体力向上プログラムに基づいた体力向上への効果的な取組の推進、運動習慣の改善に向けた学校や家庭、地域が一体となった取組を一層進める必要がある。
⑨	20	朝食を毎日食べる児童生徒の割合（公立小・中学校）	小6:95.9% 中3:94.8%	2017	小6 95.3% 中3 94.2%	増加させる	★	○全国的な傾向と同様の傾向となっている。「毎日同じくらいの時刻に起きています」、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」小、中学生の割合と同様の推移がみられ、生活習慣の乱れが要因として考えられる。
⑩	21	肥満傾向児の出現率	小5男6.06% 小5女6.33%	2017	(小5男 18.76%) (小5女 10.06%)	減少させる	(★)	●新型コロナウイルス感染症の影響から不規則な生活習慣に陥りやすくなり、運動不足や食生活の乱れ等が要因になったと推察される。今年度から学校保健統計の確報が11月公表に変更になったため、2020年の結果を記載
	22	12歳児でむし歯（う歯）のない人の割合	64.7%	2017	(70.0%)	増加させる	(★★★)	○順調に推移。今年度から学校保健統計の確報が11月公表に変更になったため、2020年の結果を記載

主な推進指標(R3点検・評価)

施策	No	主な推進指標	基準値		R3実績値	2022年/年度 目標値	評価	備考
			数値	年/年度				
⑪	23	総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職率	94.6%	2017	94.6%	100%に近付ける	★	●高い水準を維持しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって「産業現場等における実習」の実施の制限を受ける状況が引き続いて見られた。
	24	公立幼・小・中・高校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別的教育支援計画の作成率	85.4%	2018	95.8%	100%	★★	○順調に推移 (R3は文科省調査が未実施のため、県独自調査であり、幼稚園等を含まない。)
	25	公立幼・小・中・高校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別の指導計画の作成率	78.4%	2018	93.9%	100%	★★	○順調に推移 (R3は文科省調査が未実施のため、県独自調査であり、幼稚園等を含まない。)
	26	義務教育段階から高等学校段階に進学、就職する生徒について、個別的教育支援計画を活用した支援情報の引継ぎ率	70.3%	2018	75.2%	100%	★★	○順調に推移
⑫	27	スタートカリキュラムの改善に向けて、幼児教育施設との意見交換や合同の研究の機会などを設けている公立小学校の割合	82%	2018	79.3%	100%	★	○順調に推移
⑬	-	<指標5の再掲>	-	-	-	-	-	-
⑭	28	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 (公立小・中学校)	小 49.5% 中 39.3%	2018	小 50.6% 中 47.9%	小学校60.0% 中学校70.0%	★★	○順調に推移
	29	地域と小・中学校を通じた「学校・地域連携カリキュラム」の策定数	小 84.9% 中 77.8%	2018	小 100% 中 100%	各中学校区で1以上	★★★	○順調に推移
	30	地域協育ネットコーディネーター養成講座修了者数 (累計)	259人	2017	480人	500人	★★	○順調に推移
	31	コミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した学校・地域の課題解決に取り組んだ県立高校等の割合	31.5%	2017	100%	100%	★★★	○順調に推移
	32	近隣の小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールと連携した取組を実施した総合支援学校数	6校	2018	10校	12校	★★	○順調に推移
⑮	33	「やまぐち型家庭教育支援チーム」の設置率	7%	2018	23%	全中学校区の50%以上	★★	○順調に推移
⑯	34	A F P Yアドバイザーの活動回数	363回	2017	440回 (2021) 1,729回 (2018~2021累計)	1,800回 (2018~2022累計)	★★	○順調に推移
	35	山口博物館における「博物館学校地域連携教育支援事業」の利用者数	30,468人	2017	15,341人 (2021) 70,702人 (2018~2021累計)	150,000人 (2018~2022累計)	★	●新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や入館人数の制限、出前授業・社会見学等の中止により利用者が減少
⑰	36	生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」情報登録件数	64,707件	2017	84,690件	75,000件	★★★	○順調に推移
	37	社会教育主事有資格者養成数(5年平均)	17.8人	2017	14.8人	20人	★	○近隣大学等で実施される社会教育主事講習に山口県からの受講希望者を十分に受け入れてもらえなかった。
⑱	38	地域社会における人権教育の指導者養成に係る県教委主催の研修会の受講者数(年間)	304人	2017	368人	320人	★★★	○順調に推移
⑲	39	地域計画等(歴史文化基本構想を含む)の策定件数	1件	2018	累計3件 (2018~2021)	累計3件 (2018~2022)	★★★	○順調に推移
	40	文化財出前講座の実施校数	累計27校	2013~ 2017	累計57校 (2018~2021)	累計95校 (2018~2022)	★★	○順調に推移
⑳	41	学校芸術文化ふれあい事業を活用して、舞台芸術を鑑賞した公立小・中学生の割合(年間)	37.1%	2017	17.6%	維持・向上させる	★	●新型コロナウイルス感染症の影響により、学校芸術文化ふれあい事業を中止する学校があり、基準値を下回った。
㉑	42	県民のスポーツ実施率(週1回以上)	29.3%	2016	38.4%	65.0%	★★	○順調に推移
㉒	43	市町立小・中学校の耐震化率	96.8%	2018 年4月	98.7%	早期に完了させる	★★	○順調に推移
	44	市町立幼稚園の耐震化率	86.4%	2018 年4月	97.7%	早期に完了させる	★★	○順調に推移
	45	長寿命化(個別施設)計画策定率	10.0%	2018 年4月	100%	100%(2020中)	★★★	○目標達成
㉓	46	日時等を事前に告げない避難訓練を実施している学校の割合(公立幼稚園・こども園、小・中・高等学校、総合支援学校)	53.3%	2017	63.3%	増加させる	★★★	○順調に推移
㉔	47	教員一人当たり1か月平均時間外業務時間	小学校 40.8時間 中学校 56.7時間 県立学校43.6時間 (2016年度平均値)	2016	小学校 39.1時間 中学校 48.2時間 県立学校33.1時間	小学校 28.6時間 中学校 39.7時間 県立学校30.5時間 (2019年度目標値)	★★ ★★ ★★	○全校種で減少はしているものの、大幅な削減には至っていない。
㉕	-	<推進指標4、16、17、18を再掲>	-	-	-	-	-	-
㉖	48	近隣等の中(小)学校と、教科的教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った小(中)学校の割合(公立小・中学校)	小77.2% 中83.2%	2017	小88.8% 中90.0%	小100% 中100%	★★	○順調に推移
㉗	49	中学生が説明会(各高校で開催される体験入学や学校説明会等)に参加するために訪問した高校の数	1.39校	2017	0.95校	増加させる	★	●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、説明会を開催しない学校があったため。

主な推進指標(R3点検・評価)

施策	No	主な推進指標	基準値		R3実績値	2022年/年度 目標値	評価	備考
			数値	年/年度				
②⑧	50	子育て支援を行っている私立幼稚園の割合	96.8%	2017	94.2%	100%	★	●新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子育て支援を行っていた私立幼稚園の一部が子育て支援の実施を中止したため、割合が前年を下回った。
	51	私立学校（幼・中・高）の耐震化率 [2階以上又は200㎡以上の非木造施設]	84.5%	2017 年4月	92.9% (R3. 4. 1現在)	95% (2022年度末)	★★	○順調に推移。